

## モンキチョウ

三橋さんからメールで送られてきた画像の一つにアカツメ草の花で吸蜜しているモンキチョウがありました。ピントばっちりでのこの蝶の裏翅の美しさがよくわかります。撮影日時は 2017 年 7 月 23 日 10 時 50 分、場所は澄川森林駐車場広場のこと。



モンキチョウはモンシロチョウとともに極めてポピュラーな蝶なので、まず見たことない人はいないと思われます。豊平川の河原での夏の風物詩で、アカツメクサやシロツメクサの花をわたり飛び交うのを、いつでも見る事が出来ます。飛び方は敏捷で警戒心も強いので、バカチョンデジカメで接写するのは難しいのです。



ネットの画像に♂♀の結婚飛翔の場面がありました。黄味が♂で白味が♀です。有難いことに両蝶ともに表翅が見えます。吸蜜や休息で止まっている場合は必ず背中合わせにピッタリ翅を閉じますので、表翅を見る事が出来ません。昆虫標本箱で見る表翅は無理やり展翅し乾燥膠着させたものなのです。

食草はマメ科の植物でシロツメクサ、アカツメクサ、クサフジ、シナガワハギ、ムラサキウマゴヤシなどで、それぞれが豊平川河畔でも繁茂し

ています。出現は 5～10 月と長く、その間 3～4 回発生すると図鑑「札幌の昆虫」に記載されています。

分布は日本全国です。南西諸島では周年見ることができるとのこと。海外では地球規模で極めて広く分布しているようで Wikipedia によりますとヨーロッパ東南部からトルコにかけての範囲、中央アジア、台湾。



アフリカではソマリア、エチオピアと繁栄していたのでした。

以前、蝶ランプの原画を描いていて、この蝶の黄緑色の目を感動しながら描いた記憶が蘇りました。左中の画像をご覧ください。

卵と幼虫の画像も掲載しておきます。卵の形も美しいではありませんか。幼虫は一見モンシロチョウの幼虫のアオムシを思わ

せます。食草のアカツメグサの葉に乗っかっている場面です。

